

# 令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 消防防災課  
 担当名: 消防広域担当  
 内線: 8172

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B13	消防広域化推進費			一般会計	総務費	防災費	消防防災費	消防広域化推進費	
事業期間	平成18年度～ 令和4年度	根拠法令	消防組織法第33条			宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化		
						分野施策	020516 危機管理・防災体制の強化		
1 事業の概要				5 事業説明					
平成30年度に改正した埼玉県消防広域化推進計画に基づき、消防本部の広域化を推進し、住民サービスの向上、財政基盤の確立と行財政運営の効率化、消防体制の基盤の強化を図る。そこで、広域化の実現に向け、関係市町村や消防本部への説明、調整を行う。 (1) 連絡調整会議の開催 △19千円 (2) 消防広域化推進委員会の開催 △45千円 (3) 協議組織設立・運営支援 △531千円 留保額の減額及び補助金の交付申請が見込みを下回ったことによる減				(1) 事業内容 ア 連絡調整会議の開催等 329千円 消防広域化推進計画の改訂内容について各市町村・各消防本部に説明を行う。 イ 消防広域化推進委員会の開催 357千円 計画の改訂にあたり、消防広域化推進委員会を開催し、協議する。 ウ 協議組織設立・運営支援 726千円 小規模消防本部の解消に向け、各ブロックの自主的な協議検討組織に対して、設立・運営に要する経費の一部を補助する。 また、小規模消防本部の広域化を促進するため、協議会や勉強会への参加を促す。 (2) 事業計画 埼玉県消防広域化推進計画に基づく広域化を実現するために、各市町村・各消防本部に改正計画を周知し、広域化を働きかける。 特に小規模消防本部の広域化実現に向け、協議会や勉強会の積極的な開催を促す。 (3) 事業効果 大規模災害等に対する的確・迅速に対応できるようになり、県民の安心・安全が図れる。 平成28年度 消防本部訪問2回、県主催勉強会5回 勉強会開催地域2地域 平成29年度 消防本部・市町村訪問9回、県主催勉強会2回 平成30年度 市町村訪問、県主催勉強会 消防広域化推進委員会の開催3回 埼玉県消防広域化推進計画の改訂 (4) 補正予算の概要 補助金交付申請が見込みを下回ったことによる減額(△500千円) その他需用費等経費削減による留保額の減額(△95千円)					
2 事業主体及び負担区分									
(1) (県10/10) (2) (県10/10) (3) (県1/3)市町村等2/3									
3 地方財政措置の状況									
普通交付税(包括算定) (区分) 総務費 (細目) 消防防災費 (細節) 消防防災費 (内容) 消防広域化推進費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×1.3人=12,350千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	△595							△595	1,412
現計額	2,007							2,007	